

○表 本色で五臓の體素

冷えは体の新陳代謝を減退させ、種々の臓器・組織の機能低下を招き、万病の原因を作る

(余分な水分が吹き出していく病気、固くなる病気、工ネルギーが燃焼できない病気)

- 入浴一濡みかどれる
- むくみ一耳聴の弱り(心不全)
- メニエール●めまい一内耳リンパ液増加
- 吐氣一胃内分泌肝溜、ゆれ、船酔い様
- 近視一眼球内水分の過多
- 手足のまわり一体内の熱が表面へ、中は冷え
- 全ての化学薬品は体を冷やす
- 一痛みの原因
- 解熱剤一副作用としてシンマ疹
- 湿疹、胃腸障害
- 肥満一体温低く、代謝は悪くなり
- 水分や脂肪が完全燃焼できず貯まる(結果として熱不足)
- 高血圧一利尿剤(水分過多)

冷え (つかれ)

神経痛 リウマチ、
風邪(common cold)

- 胃腸病(下痢、潰瘍)、鼻炎、喘息、
- 湿疹、アレルギー、めまい、耳鳴り、吐気、
- 偏頭痛、婦人科病、生理不順、ヘルペス、
- 自律神経失調症、精神病(月の病)、近視、メニエール、
- 高血圧風、脂肪肝、むくみ、心不全

特に心臓病がないのに、突然に起こる頻脈や不整脈や、

二日酔いの時の、むくみ、下痢、偏頭痛、腹痛、

嘔気なども水毒そのものの症状

代謝機能 低下

- 冬眠一へビ、カエル、トカゲ、熊
- 落葉一落葉樹活動休止、
(常緑樹も生長止まり年輪をつくる)
- 寝冷え一 下痢
- 足腰を冷やす一足痛、腰痛
- 雨一頭痛
- 冷房一頭痛、腰痛
- 冷え一風邪、鼻水
- ストレス一血管収縮、血行不順、
- 冷え、特に胃腸病、胃潰瘍、
麻痺性腸閉塞
- アトピー、喘息一
午前3時～5時頃ひどくなる

水 (老廩物)

水分代謝障害(体内、皮下、細胞など)粘液水腫

- 冷えると血行が悪くなり、特に静脈の血行不順の状態を漢方で「血、または血の道症」とい。肩こり、頭痛めまい、耳鳴り、動悸、息切れ、神経痛、生理痛、痔、あざ、鼻血、静脈瘤、[手掌紅斑、くも状血管腫、紫がかった顔色]
- 体温低下(子供35度代、34度代増加)コレステロールや脂肪が燃焼できない。
- 10才以下の交通事故死の子供の解剖結果—90%に動脈硬化所見(日本大國真彦先生)
- 子供の異常な体質(骨折しやすい、アレルギー、成人病)を診断して妙な現象に気づく—ほぼ100%に角膜の老人輪が存在(イシハラクリニック院長石原結實先生)

地球上すべての営みが熱によって動かされている

身体を温めれば健康を増進させ、万病を自然治癒させる原動力になる
抱胸中は体温上昇。ガン39.3℃で死滅
(身体の冷えを取ることなぜ、病気が治るのか石原結實著文化制作出版社より)